

NETWORK

ねっとわあく

特集

いまどきの
就職活動
シューカツと女子学生

■■■■■■ 座談会 ■■■■■■

しっかり見ました
カイヤのいろいろ





座談会

しっかり見ました カイシャのいろいろ



今年は、「男女雇用機会均等法」施行から20年目、「改正男女雇用機会均等法」「男女共同参画社会基本法」施行から5年目です。県内11大学の平成16年3月卒新規学卒者就職内定率をみると88.5%（男90.1%）ですが、今年の子女子大学生の前に就職の門は、広がったでしょうか？今まさに就職活動の真っ只中にいる8人の皆さんに集まっていただいて、思ったこと、感じたこと、見たことを語っていただきました。ちなみに、この記事は、紙面の関係から10倍近いボリュームを圧縮したものです。

B 私は情報誌会社で、新規開拓の営業活動に同行しました。すごく無口な男性社員で不安だったので、実は数字に強い人で、お客様のために自分でデータを作って提案していました。「その人なりの営業

A 通信関係の企業で女性営業職に同行。女性の営業職は軽視されているかと思つたので、そうではないことがわかった。ルートセールスでは、お客様のニーズを掘り起こして提案するなどして、信頼関係を築いていくことが大事で、だから女性なので不利ということはない。この会社だったら自分も成長できると好感を持ちました。

会社 インターンシップを経験して、仕事に対する考えは変わりましたか。

インターンシップ (就業体験)で見た 社会のホント



3年生

- 8月 インターンシップ(就業体験)OB・OG訪問
- 9月 就職活動 開始(～12月)
- 10月 企業研究・自己分析・志望業界決め 開始
リクナビなどの就職活動サイトに登録
(登録して必要な情報をもらう)
- 11月 エントリー 開始
- 12月 志望企業決め・会社説明会参加・筆記試験や面接 開始
- 1月 志望業界・企業・職種絞込みや説明会や試験への参加など、継続的に活動(～3月)

4年制大学の場合の就職活動カレンダー

4年生

- 4月 内々定が出始める
- 5月～ 2次・3次募集開始
- 8月～ 企業により内々定企業での研修
- 10月 内定式、誓約書の提出
- 3月 卒業、新入社員研修



方法というのがある。性別は関係ない」と思いました。

C 私は幼児教育の教材の販社で体験。元営業職だった人事の女性と話ししました。その会社では、自分で設定する目標はあっても、ノルマではないので人により設定レベルはさまざまのことでした。その方は「低めに目標を設定して、訪問する軒数も人より少なかった」。そう聞いて、それなら私も頑張れるかなと。

D 金融機関の営業は男の人ばかりだと思つてたんですが、女性でバリバリ営業に出ている会社もあると、説明会で知りました。その一方で、「女性の営業職は結構つらいけど、やっていける?」と聞くところもあつて、企業によるギャップを感じました。

B この前、お風呂を修理に来たガス会社のお兄さんが「うちの会社の営業は、女性のほうが絶対にいい」と言う。なぜなら、「昼間会えるのは奥さんなので、若い男は相手にしてもらえない。だから女性の営業職を募集してるけど、女性は敬遠しがちで、仕事のチャンス逃がしてる」。

E 両親に「営業やりたい」と言ったら、「やめておけ」。しかし、商品企画とか、企画関係に将来携わりたいのなら、私は、営業は経験してお

くべきだと思えます。住宅の営業に興味があつて、やりたかつたんですが、その分野には女性が少ない。住宅も、奥さんが決定権を持っているので、活躍の場はどんどん広がると思いますが、営業職では女性を採らない住宅メーカーはまだまだありません。でも、ある会社では、女性を積極的に採用していて、営業成績全社第3位は女性でした。

現実には男女差別はあるみたい?!

F 面接で「子どもが生まれたらどうしますか?」と。先のことを聞かれても困るし、会社もすぐに辞められても困るだろうと思つて、回答に戸惑いましたけど。

E ある住宅メーカーで、「営業職希望とあるけど、そう書くと先生に指導されたんでしょ」と言われて驚きました。「会社に女の子はいるけど、あんまり使えないんだよね」ですつて。

G ある会社は、最初は「男も女も採る」と。でも説明会で「男子は全国を回ってもらう」というから、「女子は?」と聞いたら、「女子は大変だろうから県内で」。また、「簡単なアンケートみたいなものだから」と

言われてわざわざ書いたのに、女子だけ履歴書と一緒を送り返してきた会社もありました。エントリーシートを出しただけで断られたこともあります。

D 「女性は自宅通勤」とか、「女性には住宅手当を払えない」という金融機関もあつたようです。またある会社は、去年120人を採用してるのに、女性は10人程度だったので不思議だつたんですが、最終面接で「筆記試験の採点基準が男女で違う」と聞いてショックでした。200点満点で男性は120点、女性は140~150点以上。会社は、「男女構わず平等に仕事につけるが、仕事が大変だから女性は能力のある人しかとらない」と言うけど、それはおかしいのではと思いました。

A 逆に「男女平等に採ってるつもりなんだけど、女の子のほうが、成績がいい子が多いので、女の子が多くなる」という会社もありました。

C 集団面接時に女の子3人で順番を待つて、「偶然女3人になったんだね」と話したら、面接を終えて出てくるのは男の子ばかり。えっ?と思いました。会社が気を使ったのかも思つたのですが、同じ総合職で採用するのに、男女を分けて面接するのは変だと思いました。

E 住宅関係の会社で4回くらい面接がありました。説明会では男女半々だったのが、2次面接で女の子は私くらいになり、3次試験は男性ばかり。もともと女性はあんまり採らないと言つてたんですが、集団面接で大したことを言つてなくても男性なら通して、女の子はなかなかのケースを見ても、男の子なら少し頑張れば内定をくれる企業がたくさんあり、やはり、はつきりと男女差別はあると感じました。

G 私が希望した品質管理の仕事は、女性が多い職種ですが、男性も募集している。だから、それほど厳しく差別されてると感じたことにはなかつたです。「ずっと働いてくれる?」子ども産んでも続けてくれるよね?」と聞いてくれて、「ほとんど女性だけの会社だけあつて、女性に優しい!」と思つたんですが、そこは落ちてしまいました(笑)。



会社は良くて、顧客が女性を嫌う?!

G 合同企業ガイダンスで「女性は採らない」と、説明すら聞かせてもらえなかった会社も。

B 鉄鋼業界ですけど、説明会の時に、はつきり「うちの会社は女性はいりません」。

C 逆にアパレル系で、男女とも募集しているのに、説明会に来た学生や社員は女性ばかりで、男の子が「何で女性しかいないんですか?」と聞いたら、「男の子は向いてないと思うんだよね」で、説明会にも参加させてもらえなかったことも。

司会 「積極的に採りたいわけじゃないから、女性のための職場環境整備には力を入れてない」という会社もありました。合同ガイダンスで、あるメーカーさんで営業職を希望したら、「うちの営業に女の子はいない」。「だから頑張つてね」じゃなくて「まず断つとくよ」という感じの門前払い。そういうこと言われたら、諦めますか、それともチャレンジします?」

C チャレンジして、『男性優位社会』に抵抗したい気はあるんですが、入社できたとしても、すごい圧力の中で結果的に結婚退職したらと思

うと、意欲もそがれます。女性社員が少ないと言われて入社したいと思う女性は、少数でしょう。それで結局、職種も限られて、事務になつちやつて…。悪循環だと思えます。

E 営業対象が職人さんばかりだから、「女にわかつてたまるか」という昔堅気の人が多くて女性を受け入れてくれない。だから採れないという会社もありました。

A 自分の努力で会社は変えていけるかもしれない。でも何十年も生きてきたお客様の考えまで全て変えることは難しい。だから、企業側が女性営業職の採用をためらうのもわかる気がしますし、あえてチャレンジしようとは思いませんでした。



出産・育児、制度があつても形だけでは!

司会 出産や育児のための制度はどつでしたか?

A 「うちは、しっかり整っている」と言う企業は多い。でも、「その制度を使つて人は?」と突っ込むと、「今は、あんまりいません」。つまり使いにくい雰囲気がある。制度がちゃんど機能している企業は、合同説明会でもブースに女性社員が多く座つていて、産休や育休についてアピールしていました。そういう企業は自分の中ではポイントが高かったですね。

司会 その企業ならではの制度を設けている会社もありますよね。

A 私の内定先には、子どもが小学校にあがるまでは午前中だけの勤務を選べる制度があつて、実際それを使っている人も多いそうです。だから他社に比べると、結婚後もバリバリ働く人が多い。3年間の育児休業が切れる頃に2人目を産んで、それが切れる頃にもう1人産んでと、結局9年間産休と育休を使って職場復帰した人がいると聞きました。司会 それはスゴイですね。

A でも、最近結婚した同じ会社の子社員の話では、男性は25歳くらいで

結婚するけど、女性は30歳近くまで結婚しない人が多い。それは、相手が転勤族の場合、制度が整っていても、自分も相手と同じ地域に一緒に転勤できるかというところはいかない。別居する気ならいいけど、一緒に暮らしたいなら仕事を辞めることもある。その人は、「女性の人生は女性だけで決められるものではないからね」と。

D 女性は自宅通勤のみというのは、女性の声を反映させた制度だと明言した企業もあります。私もそれが希望。でも、私にはありがたくても、全国を回ってキャリアアップしたい人には、足かせになると思います。男女関係なく、勤務地を限定するか、しないかを選べる銀行もあるそうで、そういう企業こそ、社員のことを考えてくれると思います。B「勤務地限定なら昇進しても支店長まで」と言われ、勤務地希望を面接や説明会の前に選択しないといけない会社も。試験前に将来の枠まではめられている。インターンシップをした企業でも、社員の8割が女性なのに、結婚か仕事かを選ばないと続けられないようで、役職者は、未婚か離婚して独身の方たち。これも、キツイと思いますけど……。

座談会 しっかり見ました、カイシャのいろいろ。

G 保育園でアルバイトしてるのですが、お母さんで正社員というのは看護師や先生、あるいは公務員で、数的にはパートのお母さんが多い。しつかり子どもを産んで働いてという人は結局パートの方が多いです。子どもがいきなり熱を出したら、うつされると大変なので、保育園もとうとうと帰すし(笑)。

司会 そういうことの負担は女性に來るんですよね。男性も妻がやるってイメージだろうし…。

B 企業説明会で福利厚生のことを聞くのは、女の子だけじゃないですか？ 男の子が聞くと、企業は「子ども産まれたら休む気か」と思ってる採りたくないですよ。かえって男の子のほうがひどく扱われるかもしれない。かわいそうだなって思うところもあります。

司会 会社を選ぶ時に、先を見据えてるってことありますか？ 結婚後も働きやすい環境かを考えたり…。

E 出産後ちゃんと休めるか。結婚してなくても「そろそろ寿退職する時期じゃない？」なんてセクハラ圧力がからまないかどうか(笑)、一応見ていたと思います。

A 5年後、10年後も考えて活動したつもりです。企業訪問時には、結婚だけじゃなくて、セクハラ防止対

策がしっかりしているかについても見ました。また、社内の設備的な面にも気をつけて、生理用品をしまうスペースをトイレに整えていた企業には、女性に働きやすい環境を提供してるなと感じました。

男にもそれなりに悩みはある？

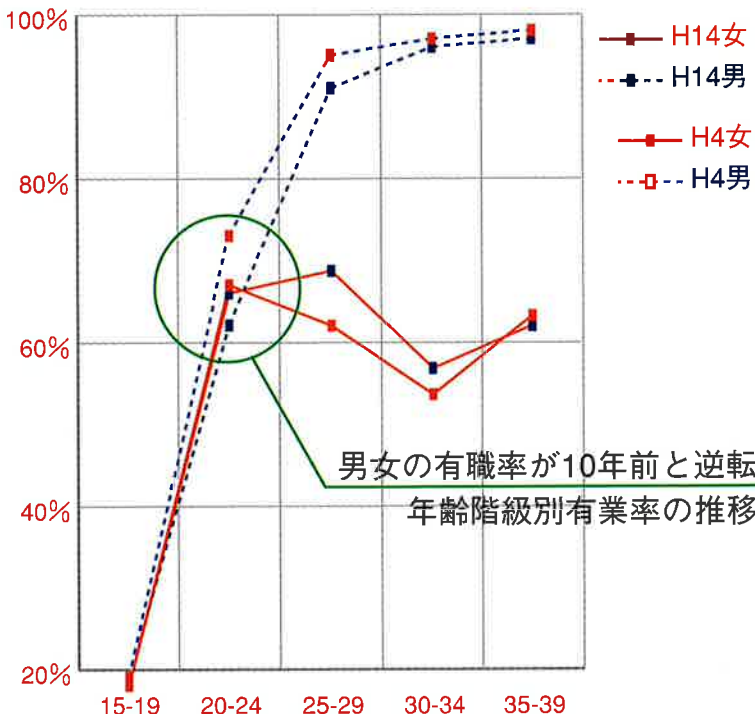
C 男と女では、すごく意識が違う。女の子のほうが就職しにくいと思ってるから、活動開始も早い。バタバタ落ちるだろうから、いろいろ受ける。合同企業ガイダンスも、1月初めの説明会に來るのは、ほとんどが女の子で、人事の方も、「男の子はいませんか」(笑)。

司会 男の子は割り切って、「営業」とかって決めて突っ走れるけど、女の子はいろいろ考えちゃって突っ走れない。そういう感じ、ありませんでした？

B 男の子は「どこでもいい」と言えるけど、女の子は「地元にこだわりたい」とか、決まるのは絶対遅いですよね。男の子は、「お前ら選り過ぎなんだよ」って怒ってましたけど(笑)。

E 両親のことを考えて、安定が

《高まる若年女性の就業意欲、若年男性は低下》
 (総務省統計局「就業構造基本調査」)
チャレンジする女性に社会的支援を!!



番、だから地元という男の子もいます。「まだ就活しなくていい」って子、頑張つて公務員とか目指してる子、女の子と同じくらい頑張つてやってくる子と、3パターンあるみたい。男には男の悩みがあるみたいでした。

B グループディスカッションだと、男の子は圧倒的に不利ですね。司会がうまく振つてあげないと男の子は喋れない(不同意)。また、シユワルツエネッゲームみたいにガタイのいい男の子で、合同企業ガイダンスに行くと、必ず自衛隊から声かけられる。



る。1回声かけられて、戻ってきたらまた声かけられたって(笑)。「もう自衛官になるしかないか」とか言つてかわいそうでした。

仕事をとる?? カレシをとる??

司会 カレシがいることって、就職活動に影響する?'

H どうですかねえ(笑)。すぐにも結婚する気で彼に合わせるって子もいますけど、結婚観には個人差があるから。

司会 結婚する気で就活しない子もいるし(「同」いるいる)とはしゃぐ)。女性のほうが男性に合わせるのと、その逆と、どちらが多いのかな。

C 女の子はいろいろ。男の人は、結婚したら女性がついて来るものと、普通に思ってますよね。私のカレシも、就職はともかく、結婚する時は自分のほうに来てくれると思ってる。女はお嫁に行くもので、男は就職した先に当然ずっと勤めているっていう意識が根底にある(笑)。

司会 愛のためなら仕事も捨てて男性についていくとか(笑)、結婚したり出産したりした時に、仕事をどうするか。それを、今の段階で、どのくらいきつめて考えてます?'

H 子ども産んで幸せな家庭を築きたいという気持を持つ人は少なくともいんじゃないやありませんか? 私もそれが強いほうなので、たぶん仕事はスパッとやめて、子ども育てて、おそ

らく復帰もしないと。

B 両立は大変かもしれない。インターンシップの会社で出会った女性営業職の方は結婚を考えていて、今の仕事を続けていては、家庭と両立できないかもしれない。育児休暇から職場復帰したけど、家庭と両立できず、離婚寸前という方の話も聞きました。それで、女性としてどういう人生設計をするかを考えるようになりましたね。

G 大学で4年間も勉強したんだから、子どものせいで仕事をやめたくない。子どもと接するのは大事だと思うけど、自分自身の生き方としてやっぱり仕事を続けたい。でも、そんな将来のことはその時になつたら考えればいいか(笑)、そんな感じもあります。結婚のことを考える選択肢の幅が狭くなりそうで。

D 理想としては仕事を続けたい。でも相手の考えによっても変わると思う。共働きだったら協力して家事をするつもりの人でも、子どもが生まれたら、ずっと家においてほしいと言うかもしれない。結婚観が自分と違う人と結婚しないかというところ、そうとも言切れないし、ケースバイケースだなって。

F 主婦の仕事も大事ですが、私はそこに止まりたくない、自分がど



こまで成長しているか見たい。だから出産しても復帰して仕事を続けたいと思ってます。

E 仕事をいくつかしてから結婚して、出産してまた戻りたい。でも周りには、結婚するつもりで就活しない人もいるし、カレシが静岡にいるから合わせるとか、カレシと二緒にガイダンス行ったり(笑。二同盛り上がる)、そういう子も多い。私の場合は、今のカレシと結婚するとは限らないと思うから(笑)、そこまです考えないけど、カレシの影響で、女の子には大きいんじゃないかな。

A 出来れば育児も産休も制度を最大限に利用して、仕事に復帰したい。でも私は全国に転勤がある会社だし、もし私が転勤できないところにカレシが転勤するとなつたら、

別居するか、どちらかが辞めることになる。で、その時は収入のことも考えられると思う。私が仕事を続けて得られる収入と、彼の収入を比べて、彼の方が多かつたら、夫婦別居は子どもにとってよくないし、最悪私が辞めるといふ選択肢もある。そう覚悟はしています。だから結婚は30ぐらいでもいいかと思ってます。

B 初任給は男女同じでも、後はかなり違う。そのことを考えると、生活の安定のために、彼について行くし、結婚では仕事は続けても、産む時には辞めると思う。前は、キャリアアウーマンになりたいと思ってたけど、私の母も大学を出て、子ども産んで仕事を辞めて、たかさんの愛情をもらって私も成長してきたから、同じようにしたい。でも、友達のお母さんは仕事を続けたけど、愛情も良かったから、彼女は、事務職でも一生働きたいという。育った環境ですごく違いますね。

C 私も特に仕事に執着があるわけではなく、相手に収入があるなら子どもを産んだら、仕事を辞めてもいい。育児を3年もらっても、3歳にしかならないし、私は一番お母さんといいたい時に母が働いていたから、逆に一緒にいたい。彼の収入がどうしようもなく少ないなら別です

座談会 しっかり見ました、カイヤのいろいろ。



けど(笑)、余裕があるなら仕事には執着しない。価値観はみんな違うと思うけど、産んですぐ仕事に戻りたいという人はいないと思うんです。

司会 出産後は仕事の量を多少制限せざるをえない。就活の時にそういうのが負い目になりませんか？

C 企業もいいとこばかり見せるじゃないですか。恋愛と同じで、就活も駆け引きだから、「だましあい」、だなんて(笑)。辞める可能性があると相手に思われたら採ってもらえない。だから自分を作って、負い目は出さないでやっています。「結婚したらどうしますか?」「続けます!」とか言っちゃったりして(笑)。

相手に

「主夫になって」と言えるか?

司会 パートナーのジェンダーバイアスが強いかわ弱いかは、どこで判断しますか?(何だろうと、同騒然)

B (カレシとして)つきあっているけれど、結婚できるかは違いますよね。相手のああいふところを見ると結婚できない、とか、子どもを育てるのに父親としてはちよつと、とか。カレシとしてつきあうだけだったらいいか、とか。だから結婚を考えるなら、そういう視点では見るかも。

司会 彼との給料格差がどれくらいだったら、相手に仕事を辞めて主夫になってと言えますか。例えば、相手の収入で食べてはいけるけど海外旅行は行けない。でも自分の収入だけでも海外にも行ける。そういう時にはどうします?(同騒然)私はいかがいそうで言えないけど。

A それを言ったら、夫婦関係が上手いかなんかというふうで言えないのであれば立って。女のほうで、「私に任せて」って言うて関係が破綻しちゃうたら、彼の収入が少なくてもいいかなって。

司会 プライドとかもあるだろうし

ね。

B 看護師なら、子どもを産んでもほぼ100%復帰できる。そういう復帰できる保証があるなら言っても、営業職でもし30、40代になり体力もなくなつて営業成績も悪くなつて、将来下がるんじゃないかと思つたら、やめるとは言わない。

司会 皆さんそれなりに考えておられるようだけど、同年代の男の子は、将来のことを、皆さんほどには考えてないんじゃないかなあ。(同騒然となり、このあとも、関連する話題が沸騰)

●出席者の大学

- 静岡県立大学
- 常葉大学短期大学部
- 静岡産業大学
- 静岡理工科大学
- 静岡文化芸術大学
- 静岡大学

●座談会の日時

- 6月18日 午後0時より
- 静岡県男女共同参画センター
- 「あざれあ」会議室にて

「勤労意欲が上昇している女性の能力が充分発揮される社会を実現することは少子高齢社会の担い手の確保という面からも、また、経済の活性化という面からも重要な課題であり対策の強化が急がれる。」(女性労働白書平成15年版II「均等法と労働環境の変化」世代別にみた女性の就業実態の変化「まとめ」より)

